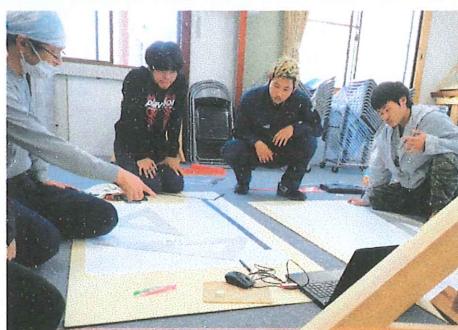






上写真||みんなで力を合わせて搬入作業。大梁用のヒノキの丸太も入りました。右写真||原寸図作成に取り組む小屋班。隅木の構造についても教わります。



東京建築カレッジの1年次の授業のヤマ場が実習棟実習です。1階部分は伝統構法(木組みだけ)、2階部分は在来構法(金物使い、筋交いが特徴)の木造軸組み2階建ての住宅の建築に取り組みます。学習のために考案されたハイブリッド構

造です。上棟以降に実施の構造実験を含めて研修生はユニークな実技実習を体験することになります。

10月27日、埼玉県飯



抜群の分かりやすさ  
構造力学授業

実技実習と並行し  
座学系授業も多彩に行われています。関昌彦講師の「構造力学演習」のように「すごく分かりやす

ます。

「小屋」の3つの班に分かれて1月26・27日の上棟を目指します。

### ワクワクしながら材料搬入

この日から「土台・二階梁」、「柱」、「隅木」、卒制作実習が続きます。

### 測量実習、「化粧棒

### 2年生の授業から

2年次の授業は卒業(修了)まで半年を切り大詰めを迎えています。右写真は測量について理論と実践の両方を学ぶ測量実習の様子(池袋本町公園)。規矩術演習の総仕上げの「化粧棒隅木」製作と、卒業制作が同時に進行です。化粧棒隅木は技能照査(実技試験の課題であり、研修生たちは真剣に授業に参加しています。



「どけんまつり」  
カレッジが出展

「カレッジフレーム」など授業課題を展示し教育内容を紹介しました。幅広い層から注目され入学の相談もありました。

10月22日(日)、

## 自分の仕事、現場での気づきを伝える訓練 建築カレッジのOJT報告会

東京建築カレッジは、同じ世界を共に生きる仲間に、自分が経験したこと、思っていることを分かりやすく伝える言語教育を重視しています。書き言葉は「日報」や各種レポートで、話し言葉は授業として実施する「OJT報告会」で訓練します。10月28日(土)には1年生(28期生)の第二回OJT報告会を行いました。立ち合いの先生方やクラスメイトに現場作業の写真を見せながら、自分の仕事や気づきを説明しました。「みんなの仕事が良く分かった」の声が相次ぎました。

### 1年生の授業から

## 28期 実習棟実習 ごとに作業スタート

ませんし、リリフォーム作業に従事する研修生はあまり見たことのない長尺、大口径の材料に圧倒されている感じです。担当の先生から材料の品質を告げられて研修生に緊張感がみなぎります。

いし、話が面白い」と高評価の授業もあります。